

蓮和会 アレン・タンドロン先生 経歴

1962年生まれ。1977年、パリにて合気道を始める。
1984年5月27日、フランス合気道連盟（FFAAA）より初段を取得。

1985年、パリのペレール合気会道場の運営を引き継ぐ。
同年、山口清吾先生の弟子であるベルナール・パルミエ先生と出会い、以後1993年までパルミエ先生のもとで研鑽を積むとともに、クリスチャン・ティシエ先生のもとでも稽古に励む。その後、パルミエ先生の導きにより、山口清吾先生と出会う。山口先生より、1988年に（公財）合気会本部道場 二段、1989年に三段を授与される。



1995年、フランスにおけるスポーツ指導者国家資格を取得し、正式にプロの合気道指導者として活動を開始。ペレール合気会道場および、パリの複数の施設において指導を行う。1998年、パリからモンペリエへ拠点を移し、モンペリエ合気道クラブで指導にあたる。

1997年、合気道に対する同じ理念を共有する指導者や稽古者を集め、「蓮和会」を設立。

2004年8月、クリスチャン・ティシエ先生より（公財）合気会本部道場 四段を授与される。2005年1月、安野正敏先生からの推薦により五段を取得。2013年1月、宮本鶴蔵先生からの推薦により六段を取得。

2016年5月、（公財）合気会本部道場の段位審査員に就任。

2025年、東京にて執り行われた鏡開きの儀において、植芝守央道主より七段を授与され、同年、師範の称号も受ける。

現在、ヨーロッパ各地、カナダやアルゼンチン等、様々な国で国際的に指導を行っている。